

いつもいっしょに
オークワ。



証券銘柄コード 8217

BUSINESS REPORT

第38期の
ご報告

平成18年2月21日—平成19年2月20日



スーパーリージョナルチェーンを目指して 「第2の創業」を力強く推し進める 「規模の拡大」「業態の確立」「質の向上」への挑戦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、緩やかではあるものの景気回復基調を持続しました。その一方、個人所得はあまり伸びず、一般的に個人消費は低調に推移しております。また、競合の激化や暖冬の影響等もあり、小売業にとっては厳しい経営環境が続いています。

こうした市場環境にも関わらず、当期の当社グループは、営業収益、経常利益、純利益のすべてにおいて前期を上回る業績をあげることができました。経常利益、純利益においては二桁の成長です。その好調さを牽引しているのは、オークワの強さの秘密であるエリア集中型のドミナント戦略です。

当社は、和歌山、奈良、大阪、三重の近畿1府3県で多彩な店舗を効果的に展開しています。そのなかで、お客様のご要望を敏感に察知しながら、新業態の開発や新たな出店計画、あるいは

業態転換や店舗改装を積極的に進めています。柔軟性のあるマネジメントで、新店、既存店ともに若く、魅力あふれる多店舗ネットワークを作りあげているのです。

また、昨年スタートした「第2の創業」では、「近畿で最も競争力の強いスーパーリージョナルチェーン」を目標に掲げて、「規模の拡大」「業態の確立」「質の向上」の3つのキーワードに挑戦してきました。そうした努力が、当期の好調さを支えています。

しかし、業界再編など企業間競争は一段と激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。小売業界においては、ますます多様化するお客様のニーズにいかに対応できるかが重要となっており、その対応力によって企業業績の格差が鮮明になっていくものと思われま。

こうした環境を踏まえ、当社は「企業価値・経営効率の更なる向上を目指し、現場力・商品力・サービス力強化に邁進しよう。」をスローガンに掲げ、商品の品質・安全管理をはじめとする現場



毎日の献立をサポートする「クッキングサポートコーナー」では、調理人がお客様とコミュニケーションをとりながらレシピを配り、調理の実演を行っています。



レジ待ち時間を解消し、より快適なお買い物を目指して2004年に導入したセルフレジシステムは、21店舗108台に拡大いたしました。



高質スーパーメッサでは、一流ホテルからシェフを採用し、一味違ったオムライスやサラダなどを実演調理・販売するコーナーが人気を集めています。

の一層のレベル向上に取り組んでいます。お客様に「お買物をするならオークワ」と思ってもらえる企業として、今後も積極的に店舗開発・商品開発を推し進め、当社独自のサービスを提供し、地域のお客様に愛されるお店であり続けるよう、鋭意努力いたす所存でございます。

当社は中期経営目標として、営業収益3,000億円、営業利益120億円、店舗数165店を目指しておりますが、その早期達成の鍵を握っているのは、お客様に必要とされる店舗づくりにほかなりません。私たちは、地域に密着したOnly One企業として、これまで以上に地域社会のお役に立てるよう、時代のニーズに即した便利さと、お買物の楽しさを提供する「驚きと感動」のある店舗づくりに努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
大桑 啓嗣

オークワを進化させる3つの「E」 当期の主な取り組み

近畿最強のスーパーリージョナルチェーンを目指して着々と進む経営戦略

report 1 | Establish 【業態の確立】

エブリデーロープライスがお客様に支持されて 50店舗が視野に入った「プライスカット」

スーパーリージョナルチェーンであるためには、地域の圧倒的なシェアを獲得してはなりません。当社では、複数の業態を持ち、そのなかから地域にもっともふさわしい業態を絞り込むという戦略で、各地域のニーズを機敏に汲み取ってきました。2004年からスタートした「プライスカット」も、新しい業態としてしっかりと確立。中長期に50店舗体制も視野に入ってきました。他の新業態とともに、レギュラー業態も業務改革と店舗の活性化を図りながら、すべての業態をさらに充実させていきます。

プライスカット業態では初めて新築店舗も展開—「プライスカット田辺下万呂店」



ワンランク上の食生活を展開する“高質スーパーマーケット”—メッサ業態



オークワは地域とともに



700人を超えるちびっ子が参加した「ちびっこ健康マラソン大会」



メーカー11社の協力を得て、総計352名様をご招待した「新食生活 工場見学フェア」

地域に密着したオークワならではの お客様との交流イベント

地域の皆様とともに歩む当社では、皆様に喜んでいただける店舗づくりのみならず、様々なイベントを通じて地域との交流を深めています。当期も、様々な食品メーカーの工場を巡る「新食生活 工場見学フェア」や、和歌山市教育委員会の後援を受け地域の恒例行事となっている「ちびっこ健康マラソン大会」の共催など、多くの地域の皆様楽しんでいただけるイベントを実施いたしました。

report 2 | Elevate 【質の向上】

大好評をいただいている「ネットスーパーオークワ」 「たすかる便」も導入店舗をさらに拡大

質の向上のため、多様な取り組みを行っております。安全で高品質な商品をお届けするためのマイブランド「オークワ食品工場」や、和歌山県では2人に1人が会員となっている「オーカード」「オーカードプラス」をはじめ、21店舗に108台と導入が進むセルフレジシステムや、リピーター率が60%を超える即日配達サービス「たすかる便」、そして当期にスタートした「ネットスーパー」は約27万世帯をカバーし、導入店舗を順次拡大します。



国内最大規模の15,000アイテムを擁する「ネットスーパー」では、「たすかる便」で最短3時間のお届けも可能

report 3 | Expand 【規模の拡大】

「ヒラマツ」「マツモトキヨシ」との業務提携がもたらした さまざまな相乗効果

当社の新たな拡大戦略の中核を担うのが、経営基盤を強化する業務提携とシェア拡大につながるM&A（企業の買収・提携）の推進です。「マツモトキヨシ」との異業種間の業務提携や、「ヒラマツ」との資本業務提携は、事業の効率化のみならず、相互の強みを活かした様々なシナジー（相乗効果）をもたらしています。

ドラッグストア最大手の「マツモトキヨシ」との業務提携により、医薬品はもちろん、ヘルスケア関連商品も強化。食品に限らず、より良い品をより安くご提供するための大きなステップに



緊急時には防災活動拠点となるメッサオークワガーデンパーク和歌山店

地域の防災拠点として緊急時のお役に立てるように 『オークワ災害緊急備蓄センター』

当社は、和歌山県と災害物資調達の協定を結んでおり、災害時には最高1,000万円相当の救援物資（食料品・日用品・衣料品など）を無償で供給いたします。また、大阪府、奈良県、三重県などとも協力し、被災地域の緊急物資や救援物資の確保に努めるとともに、メッサオークワガーデンパーク和歌山店を防災活動拠点として提供します。さらに、国際的な募金活動の実施や、従業員の防災意識の向上に積極的に取り組むなど、様々なかたちで、防災活動に貢献したいと考えています。

連続2ケタの増益を達成し、 中期経営計画の目標達成に向けて 確かな成長を続けています。

営業概況

当社は、「質の向上・業態の確立・規模の拡大を目指して、リスクを恐れずたゆまずチャレンジしよう。」をスローガンに掲げ、業務を進めてきました。

「質の向上」については、コーポレートガバナンスと法令遵守を徹底化し、従業員一人ひとりの質のレベルアップにつながる教育・研修体制強化を実施。教育研修センターのリニューアルやカスタマーフレンドリーサービス教育の導入などを行いました。また、2004年に導入したセルフレジも100台を突破。稼働率も向上し、新たなサービスとして定着しています。さらに、バーチャル画面でお買物ができる「ネットスーパー」も、次世代を見据えた新しい取り組みとして順調にスタートしています。

「業態の確立」については、まずプライスカット業態では初めてとなる新築店舗「プライスカット田辺下万呂店」を含め23店舗まで拡大。スーパーセンター業態では5店舗目となる「スーパーセンターオークワ和泉納花店」をオープン。また、メッサ業態は「岩出西店」を業態変更し、2店舗となるなど、多様化する消費者ニーズへの対応を推し進めています。併せて、広告宣伝費や人件費などの販売費を抑制し、販売体制強化とコスト削減の両面から業務改善を実施しています。

「規模の拡大」については、大きな目標である既存店売上高前年対比100%を目指し、スクラップアンドビルドを積極的に実施。「驚きと感動」をご提供できる店舗づくりに努めました。当期に子会社化した(株)ヒラマツの7店舗を加えて、スーパーマーケット事業全体では140店舗となっています。

これらの結果、当期の当社グループの営業収益(売上高及び営業収入)は2,443億5百万円(前期比4.4%増)、経常利益は71億78百万円(前期比11.7%増)、当期純利益は39億19百万円(前期比10.8%増)となりました。

新店舗のご紹介



プライスカットオークワ田辺下万呂店



オークワ津ラツ店



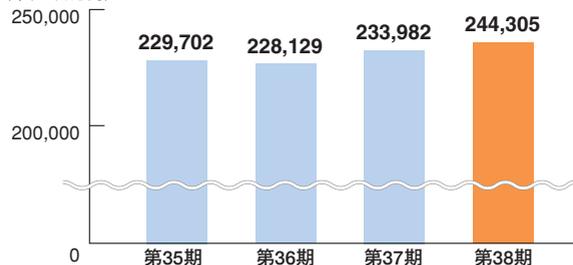
オークワ大和郡山柳町店



スーパーセンターオークワ和泉納花店

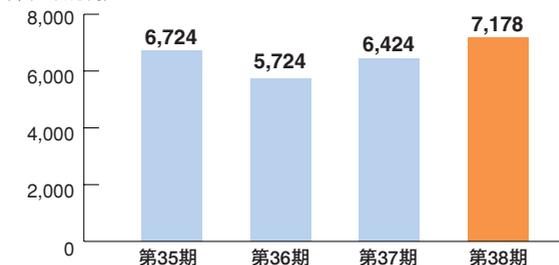
営業収益

(単位:百万円)



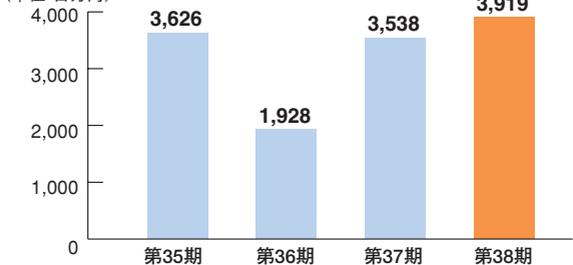
経常利益

(単位:百万円)



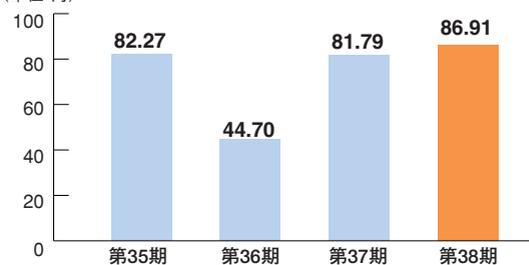
当期純利益

(単位:百万円)



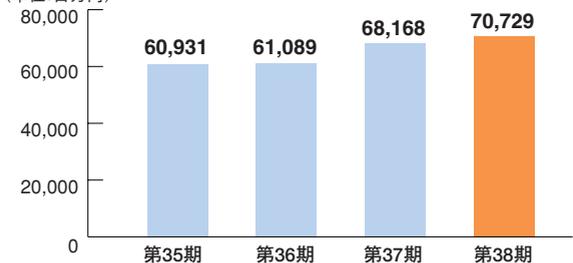
1株当たり当期純利益

(単位:円)



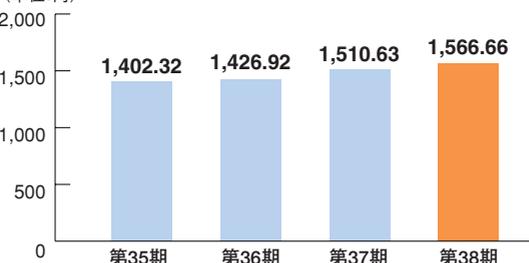
純資産

(単位:百万円)



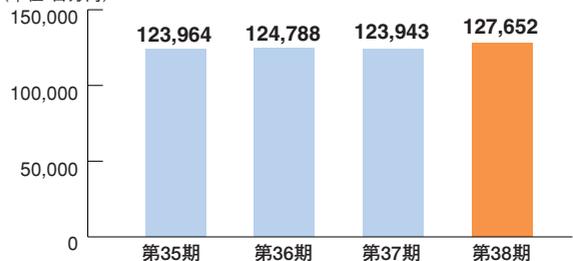
1株当たり純資産

(単位:円)

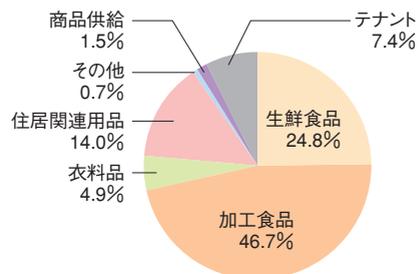


総資産

(単位:百万円)



商品別売上構成比



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

第38期

第37期

(単位:百万円)

平成19年2月20日現在

平成18年2月20日現在

	第38期	第37期
[資産の部]		
流動資産	23,074	19,509
固定資産	104,578	104,433
有形固定資産	76,534	75,507
無形固定資産	4,618	4,401
投資その他の資産	23,425	24,524
資産合計	127,652	123,943
[負債の部]		
流動負債	42,966	40,664
固定負債	13,956	15,110
負債合計	56,923	55,774
[少数株主持分]		
少数株主持分	—	—
[資本の部]		
資本金	—	14,117
資本剰余金	—	15,040
利益剰余金	—	38,177
その他有価証券評価差額金	—	994
自己株式	—	△161
資本合計	—	68,168
負債、少数株主持分及び資本合計	—	123,943
[純資産の部]		
株主資本	69,883	—
評価・換算差額等	731	—
少数株主持分	115	—
純資産合計	70,729	—
負債純資産合計	127,652	—

連結損益計算書

第38期

第37期

(単位:百万円)

自平成18年2月21日
至平成19年2月20日

自平成17年2月21日
至平成18年2月20日

	第38期	第37期
営業収益	244,305	233,982
売上高	236,178	226,110
売上原価	176,178	167,726
売上総利益	59,999	58,383
営業収入	8,127	7,872
不動産賃貸収入	3,660	3,678
その他の営業収入	4,466	4,193
営業総利益	68,126	66,256
販売費及び一般管理費	61,044	59,758
営業利益	7,082	6,497
営業外収益	611	486
営業外費用	515	559
経常利益	7,178	6,424
特別利益	143	77
特別損失	502	379
税金等調整前当期純利益	6,818	6,122
法人税、住民税及び事業税	2,893	2,331
その他	195	252
当期純利益	3,919	3,538

連結キャッシュ・フロー計算書

第38期

第37期

(単位:百万円)

自平成18年2月21日
至平成19年2月20日

自平成17年2月21日
至平成18年2月20日

	第38期	第37期
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,966	9,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,004	△7,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,259	△669
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増加額	2,703	1,451
現金及び現金同等物の期首残高	6,996	5,544
現金及び現金同等物の期末残高	9,699	6,996

連結株主資本等変動計算書

連結会計期間(自平成18年2月21日 至平成19年2月20日)

(単位:百万円)	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年2月20日残高	14,117	15,040	38,177	△161	67,173	994	—	68,168
剰余金の配当	—	—	△1,127	—	△1,127	—	—	△1,127
取締役賞与金	—	—	△7	—	△7	—	—	△7
当期純利益	—	—	3,919	—	3,919	—	—	3,919
自己株式の取得	—	—	—	△75	△75	—	—	△75
その他の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△263	115	△148
平成19年2月20日残高	14,117	15,040	40,962	△237	69,883	731	115	70,729

※会計基準の変更に伴い、当連結会計年度より連結剰余金計算書は連結株主資本等変動計算書となっております。尚、前期の連結剰余金計算書の掲載は割愛しております

単体財務諸表 (要約)

単体貸借対照表

第38期

第37期

(単位:百万円)

平成19年2月20日現在

平成18年2月20日現在

	第38期	第37期
[資産の部]		
流動資産	22,328	19,229
固定資産	99,944	102,707
有形固定資産	73,331	74,908
無形固定資産	4,288	4,339
投資その他の資産	22,324	23,458
資産合計	122,272	121,936
[負債の部]		
流動負債	38,764	39,392
固定負債	13,325	14,838
負債合計	52,089	54,230
[資本の部]		
資本金	—	14,117
資本剰余金	—	15,040
利益剰余金	—	37,715
その他有価証券評価差額金	—	994
自己株式	—	△161
資本合計	—	67,706
負債及び資本合計	—	121,936
[純資産の部]		
株主資本	69,454	—
評価・換算差額等	728	—
純資産合計	70,182	—
負債純資産合計	122,272	—

単体損益計算書

第38期

第37期

(単位:百万円)

自平成18年2月21日
至平成19年2月20日

自平成17年2月21日
至平成18年2月20日

	第38期	第37期
営業収益	242,053	232,094
売上高	233,866	224,111
売上原価	176,034	167,482
売上総利益	57,832	56,628
営業収入	8,187	7,982
不動産賃貸収入	3,720	3,788
その他の営業収入	4,466	4,194
営業総利益	66,019	64,611
販売費及び一般管理費	58,855	58,085
営業利益	7,163	6,526
営業外収益	538	491
営業外費用	477	545
経常利益	7,225	6,473
特別利益	143	73
特別損失	429	341
税引前当期純利益	6,938	6,204
法人税、住民税及び事業税	2,889	2,328
法人税等調整額	96	259
当期純利益	3,953	3,617
前期繰越利益	—	1,997
中間配当額	—	470
当期末処分利益	—	5,144

株主資本等変動計算書

会計期間(自平成18年2月21日 至平成19年2月20日)

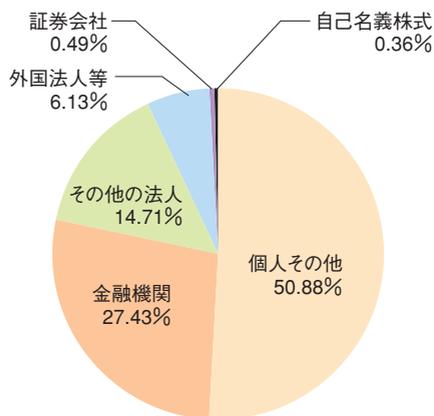
(単位:百万円)	株主資本											評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本 合計			
		資本 準備金	その他 資本剰余金		その他利益剰余金			繰越利益 剰余金					
平成18年2月20日残高	14,117	14,027	1,013	1,314	1,150	104	30,000		5,144	△161	66,711	994	67,706
剰余金の配当								△1,127		△1,127		△1,127	
取締役賞与金								△7		△7		△7	
当期純利益								3,953		3,953		3,953	
自己株式の取得									△75	△75		△75	
その他の変動額(純額)					△10	△66	2,400	△2,323			△266	△266	
平成19年2月20日残高	14,117	14,027	1,013	1,314	1,140	38	32,400	5,639	△237	69,454	728	70,182	

※会計基準の変更に伴い、当会計年度より利益処分計算書は株主資本等変動計算書となっております。尚、前期の利益処分計算書の掲載は割愛しております。

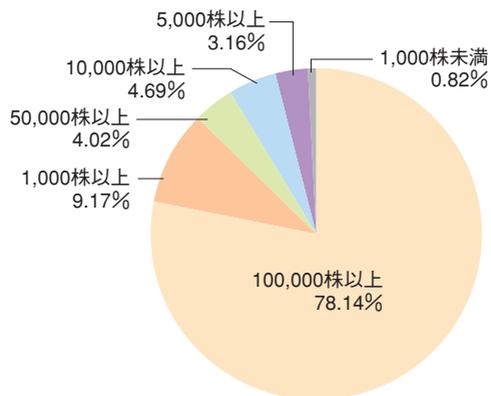
株式の状況 (平成19年2月20日現在)

発行可能株式総数	159,605,000 株
発行済株式の総数	45,237,297 株
株主数	4,367 名

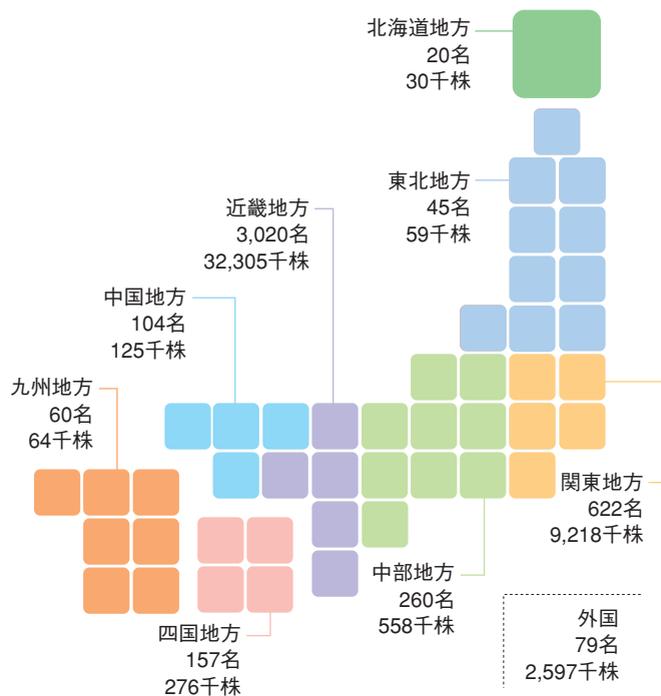
所有者別分布状況



所有株別分布状況



株式の地域別分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
大桑増嗣	4,142千株	9.38%
大桑啓嗣	3,276千株	7.42%
大桑祥嗣	3,203千株	7.26%
大桑俊男	3,166千株	7.17%
住友信託銀行株式会社	1,998千株	4.52%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,686千株	3.82%
オークワ共栄会	1,556千株	3.52%
財団法人大桑教育文化振興財団	1,520千株	3.44%
株式会社紀陽銀行	1,323千株	2.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,137千株	2.57%

株主メモ (株主のご案内)

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月20日 期末配当金 毎年2月20日 中間配当金 毎年8月20日 <small>そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日</small>
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部

会社概要 (平成19年2月20日現在)

社名	株式会社オークワ
創業	昭和13年5月
会社創立	昭和34年2月27日
会社設立	昭和44年2月21日
資本金	141億1,749万円
本社所在地	和歌山市中島185番地の3 TEL. (073) 425-2481 (代)
従業員数	1,660名(社員) 6,492名(パートタイマー) 8時間換算
事業内容	システムによるチェーンストア経営 食料品、酒類、米類、家庭用品、住居用品、室内装飾品、DIY、レジャー用品、スポーツ用品、家庭電化製品、化粧品、医薬品、カメラ、衣料品の販売、DPE
店舗数	和歌山、大阪、奈良、三重に133店舗



重要な連結子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)オークフーズ	472	100.0	レストラン等の飲食業
(株)ヒラマツ	408	98.0	スーパーマーケット事業



オークフーズ



ヒラマツ

役員 (平成19年5月17日現在)

代表取締役会長	大桑 靖 嗣
代表取締役社長	大桑 啓 嗣
常務取締役	福西 拓 也
常務取締役	今井 啓
取締役	塩谷 俊 夫
取締役	福住 哲 也
取締役	神吉 康 成
取締役	高橋 晴 康
取締役	日田 明 文
取締役	大桑 祥 嗣
取締役	大桑 俊 男
常勤監査役	大塚 和 彦
監査役	永 栄 靖 生
監査役	勝田 仁 康
監査役	津田 幸

株主優待制度

当社では毎年2月20日現在の株主名簿に記載のある1,000株以上の株式を所有されている株主様を対象に株主優待制度を実施しております。

権利確定日…… 2月20日
発送予定…………… 5月

※下記は平成19年2月期株主優待品です。

ご所有株式数**1,000株**以上で
『最上級紀州南高梅(紙袋入り)×3
袋)詰め合わせ』を贈呈いたします。



ご所有株式数**5,000株**以上で
『最上級紀州南高梅(紙袋入り)×4
袋)詰め合わせ』木箱入りを贈呈
いたします。



情報満載のホームページ

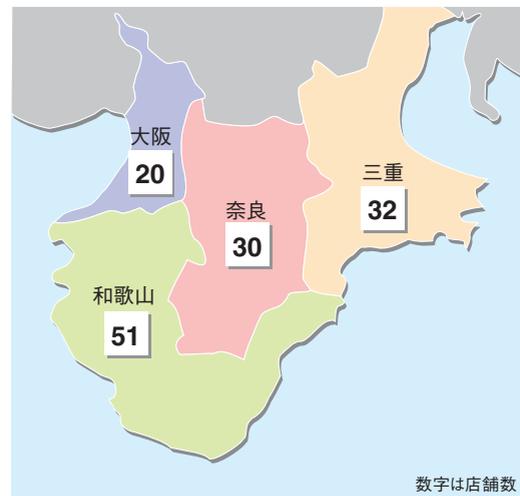
当社のホームページでは、商品情報や店舗情報はもちろん、オンラインショッピングや各種キャンペーンのお知らせ、チラシ情報など、充実のメニューでアクセスをお待ちしています。

詳しくは<http://www.okuwa.net/>をご覧ください。



<店舗> 店舗数133店(平成19年2月20日現在)

- 本社
和歌山市中島185番地の3
- 大阪支社
大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
- 和歌山物流センター
和歌山市大垣内字沢633番地
- 関流通センター
三重県亀山市関町市瀬1番地の1
- みはま食品工場・流通センター
三重県南牟婁郡御浜町阿田和宇賀松3514
- 泉佐野流通センター
大阪府泉佐野市住吉町2番地の4
- 和歌山食品工場
和歌山市吐前字坊り1043番地
- 奈良食品工場
奈良県大和郡山市池沢町224番地
- 和歌山食品センター
和歌山市大垣内字沢621番地の1



※上記店舗以外に本社・食品工場・食品センター・物流センター

OKUWA

本社 〒641-8501 和歌山市中島185番地の3
TEL. (073) 425-2481 (代)

R100
百歳配合率100%再生紙を使用

PRINTED WITH
SOY INK

この報告書は100%古紙再生紙と植物性大豆インキを使用しています。